

# シケン(小松島)の子会社クエスト(愛知) 小松島に移転し連携強化

## 人工歯シェア拡大目指す



小松島市に本社を移転するクエストの新社屋イメージ図(同社提供)

歯科技工物製造のシケン(小松島市)の子会社で、歯科材料の製造販売などを行うクエスト(愛知県半田市)は2019年7月をめぐりに、本社を小松島市

に移転する。シケン本社横に研究棟を兼ねた新社屋を建設。シケンと連携して人工歯の素材などの研究開発体制を充実させ、国内外で

のシェア拡大を目指す。新社屋は鉄骨2階建て約610平方メートル。設計開発や品質システム管理を担う部署を全面移転し、徳島市内のオフィスを間借りしている国内営業部門の一部も収容する。物流機能や海外事業部門などは愛知県に残し、従業員37人のうち10人ほどが新本社に勤務する。総投資額は約2億円を見込む。今後は県内での採用も積極的に進め、5年後には人員を倍増させる計画。

シケン本社横に研究棟を兼ねた新社屋を建設。シケンと連携して人工歯の素材などの研究開発体制を充実させ、国内外で

のシェア拡大を目指す。新社屋は鉄骨2階建て約610平方メートル。設計開発や品質システム管理を担う部署を全面移転し、徳島市内のオフィスを間借りしている国内営業部門の一部も収容する。物流機能や海外事業部門などは愛知県に残し、従業員37人のうち10人ほどが新本社に勤務する。総投資額は約2億円を見込む。今後は県内での採用も積極的に進め、5年後には人員を倍増させる計画。

る技術が海外を中心に国内の一部でも普及してきている。現在の主力である人工歯の改良や新素材の開発と並行して、デジタル化に適した材料の研究や開発にも取り組む。

クエストは1957年創業で、98年にシケン傘下に入った。製造大手がひしめく愛知県内では研究開発に向けた産官学連携の機会に恵まれず、人材確保も困難になったため移転を決めた。シケンと互いのノウハウを生かせるほか、設備投資の合理化なども図れると考

えた。

宮地良憲専務取締役は「徳島で開発した製品を全世界に発信していきたい」と話している。

(中野由梨)